

## 平成 29 年度 第 1 回 MICE ワーキング

日 時: 平成 29 年 6 月 15 日(木) 10 時 00 分～11 時 30 分(予定)

会 場: 波止場会館 5 階 多目的ホール( 横浜市中区海岸通 1-1 )

### 1 はじめに

- (1) MICE 振興課スタッフ紹介
- (2) ワーキングアドバイザーのご紹介
- (3) 参加事業者自己紹介

### 2 横浜の MICE の現状について

横浜市文化観光局 MICE振興課 観光MICE振興部 MICE振興課 担当係長 中尾 祐次様

### 3 YCVB からの情報共有

- (1) IMEX2017 出展報告について
- (2) 平成 29 年度横浜 MICE 開催応援プラン 下期分受付開始について
- (3) 大学および研究機関との連携について
- (4) 横浜ミーティングプランナーズガイドの製作について
- (5) 横浜開催決定案件について

### 4 みなとみらい「20 街区 MICE 施設」について

株式会社横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜) 営業推進部 誘致推進課 係長 村山 公美様

### 5 グループディスカッション

～～ テーマ ～～

MICEワーキングで目指したいこと・目標と具体的なアウトプットについて

### 6 その他

賛助会員企業様からのお知らせ

.....【配布資料】.....

- 別紙① 平成 29 年度 第1回MICEワーキング名簿
- 別紙② IMEX2017(フランクフルト)出展報告
- 別紙③ 平成 29 年度 横浜 MICE 開催応援プランのご案内
- 別紙④ 横浜コンベンションサポートガイド
- 別紙⑤ 横浜ミーティングプランナーズガイド 2018-2019 年版 製作のご案内
- 別紙⑥ 横浜開催決定案件について
- 別紙⑦ ディスカッションシート

## 【議事メモ】平成 29 年度 第1回 MICE ワーキング

日 時：平成 29 年 6 月 15 日(木) 10 時 00 分～11 時 30 分

会 場：波止場会館5階 多目的ホール

参加者： 19 団体 23 名

### 1 はじめに

- (1) MICE 振興課スタッフ紹介
- (2) ワーキングアドバイザーの紹介
- (3) 参加事業者自己紹介

### 2 横浜の MICE の現状について

横浜の MICE を取り巻く現状についてプレゼンテーション

横浜市文化観光局 観光 MICE 振興部 MICE 振興課

- ・ 横浜市の人口は2019年をピークに減少していき、65歳以上は逆に増加する予定  
→ 一定人口減少なら交流人口増を目指す＝横浜に来訪する外国人の重要性
- ・ MICE の経済波及効果(地域産業発展)、社会的波及効果(人材育成等)
- ・ MICE 市場は年々競争が激しくなっており、各国の都市も力を入れている
- ・ 横浜市のターゲットは中大型国際会議、医学系会議
- ・ 大きい国際会議は4～5年前には開催が決定するので、長いスパンでの取り組みとなる
- ・ 昨年度誘致成功会議、今年度開催会議の説明
- ・ パシフィコ横浜は国際会議場として、長らく国内トップをキープ→オールインワンメニューが評価されている
- ・ 2020 年には 20 街区に新施設がオープン、新施設のみで440億円の市内経済波及効果が期待できる  
→ これまでパシフィコ横浜の空きがなくお断りせざるを得なかった案件も受けられるようになる。  
2017 年5月予約開始、8月から本体着工。

### 3 YCVB からの情報共有

- (1) IMEX2017 出展報告について
- (2) 平成 29 年度横浜 MICE 開催応援プラン 下期分受付開始について
- (3) 大学および研究機関との連携について
- (4) 横浜ミーティングプランナーズガイドの製作について
- (5) 横浜開催決定案件について

### 4 みなとみらい「20 街区 MICE 施設」について

20 街区 MICE 施設の詳細についてプレゼンテーション

株式会社横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜) 営業推進部 誘致推進課

- ・ 半年後頃に施設通称決定予定、3,000 名規模の国際会議・学会の開催が可能
- ・ 1階多目的ホールは8分割まで可能、2階から4階の会議室フロアはホールを囲むL字型の構造になっている
- ・ 現在度々寄せられている会議センター～展示ホールでの展示が遠いといったご意見に対応できる
- ・ 大型国際会議では企業展示に人を流すことが重要視されるので、展示スペースの横にプレナリー会場を配置するなど、フレキシブルな会場計画も実現可能となる

## 5 グループディスカッション

ディスカッションシートに基づき、MICE ワーキングで目指したいこと・目標と具体的なアウトプットについて、3チームに分かれディスカッション(ファシリテーターは各アドバイザー)

### Aグループ

- ・ユニークベニューとしての役割と他都市のケーススタディについて理解を深め、具体的な地域連携強化に取り組みたい。  
過去2年間、なんとなくフワッとしているところがあったので具体的なアウトプットを。横浜の知名度の低さも課題。2019、2020年に向け、横浜でユニークベニューが足りないなら、鎌倉等と連携をしても良いのかもしれない。
- ・以前所属していた支店(上海、バンコク)ではインセンティブを担当していた。「神奈川」よりも「横浜」の方が知名度があり、東京の一部として捉えられている感があった。横浜では海の公園で砂浜アクティビティ等のチームビルディングはどうか。トレンドであるユニークベニューの開発にも取り組みたい。
- ・現状、ユニークベニューとして時折問合せがある。
- ・貸切の問合せが多いが、市により金沢区民の憩いの場として位置付けられていた経緯もあり、実現が難しい状況。
- ・1,000名以上という問い合わせがくると、どこも施設でも対応が難しくなってしまうが、他施設で不成約となった案件をいくつかの施設で紹介しあうシステムがあっても良いのでは。
- ・YCVBも色々ユニークベニューを発掘してきたかと思うが、どのような時にどの施設を出したら良いか施設の「見える化」が重要。YCVBのウェブサイトやプランナーズガイドをもっと活用できれば良い。
- ・公共機関の活用については交渉が難しいのが現状だが、市内事業者の皆様にもっと活用していただけるよう昨年より各機関への交渉を始めている。県民ホールの予約にも取り組みたい。

#### 【まとめ】

- ・アフターコンベンション向けのユニークベニュー開発
  - ・SNSやウェブサイトを活用した見える化
  - ・露出の機会の拡充
- が重要

### Bグループ

- ・アフターコンベンションでのパーティー利用や下見の問合せをいただいているが、学会から直接の問合せはない。年間10件程度の貸切利用がある。MICEの営業は主にPCOを対象に行っている。
- ・MICEワーキングへ参加することで、MICEに積極的に取り組む第1歩としていきたい。新しい切り口として、今まで出来ていないユニークベニューとしての施設利用に取り組みたい。  
芸術文化振興財団で管理する能楽堂以外の施設でも、ユニークベニューとしての利用ができることもある。  
能楽堂利用の場合、演目は古典芸能や伝統芸能に限る。「特別バックヤードツアー」を有料にて実施している。定員は40名。
- ・MICE参加者に横浜をどのように伝えていくかが課題だと思う。みなとぶらりチケットは年間70,000枚を販売している。これまで日本語のほか英・中(簡体字)を用意していたが、今年は新たに中(繁体字)・タイを整備する予定である。  
MICEワーキングの今後の方向性や、仮に制作物を作成となった場合の費用負担の考え方を知りたい。
- ・新横浜は新幹線の停車駅なので、横浜来訪の玄関口である。英語対応の面で、海外PCOとの交渉には二の足を踏んでいる。会場の調整が課題と感じている。
- ・MICEについては、通訳や人材派遣、プロモーション・企画等で関わりがある。VRを利用した情報発信も手掛けている。

【まとめ】

- ・アフターコンベンション向けのユニークベニュー開発
- ・MICE参加者への情報の届け方
- ・市内に点在する観光施設の見せ方の工夫

が重要

Cグループ

- ・各企業の MICE へのアプローチはどんなものがあるか。
- ・ロゴ入りお土産制作。今後は、宿泊ホテルのお部屋にお菓子を提供するなどのサービスをしていきたい。
- ・タブレットを使って翻訳(TV 電話経由)。気軽に導入できるので、個店舗でも活用しやすい。個店舗の遊休スペースを使って荷物預かりサービス
- ・開港記念会館での会議のランチ会場としての需要がある。
- ・いろいろなアイデアを活用して会議誘致に取り組みたい。  
⇒それらを使って何に対してアプローチしていくのか。2019・2020 年のスポーツ MICE へのアプローチにつながりそう。個々の考えを 1 つにまとめて相乗効果を出していきたい。
- ・山下エリアでは山下 MICE 連絡協議会を運営している。パシフィコ横浜様で開催された会議の波及効果を、山下含め他のエリアにも広げるべき。
- ・パシフィコ横浜様での不成立案件、今後更に市内で取り込んでいけるように。ADB では会議後に東京に流れてしまっていたので、アフターコンベンションも充実化を。

【まとめ】

- ・各社が展開している MICE 商品をまとめて相乗効果を出していきたい。
- ・ラグビー、オリパラへのアプローチも重要。
- ・パシフィコ横浜様での不成立案件、今後更に市内で取り込んでいく。
- ・アフターコンベンションの充実化をはかり、会議参加者を取り込む仕組み作りが重要である。